

十日町市
Tokamachi
ぎかい
だより

No. 57

平成30年8月10日発行

写真タイトル 涼を求めて (松代高校写真部)

やさしいまちでありたい

—— みんなの心をつなぐ手話言語条例を制定します ——



聴覚障がい者団体との懇談会（平成30年1月23日）

厚生常任委員会では「十日町市みんなの心をつなぐ手話言語条例」の案を作成し、平成30年第3回定例会（9月定例会）での制定を目指しています。今号では、条例案ができるまでの経緯や委員の思いをお伝えします。

委員会では条例を提案

平成30年1月、「聴覚障がいのある人にやさしいまちにしたい」、という思いから、厚生常任委員会では、自分たちで条例案を作成し、条例制定を目指すこととしました。

議員や委員会が市民生活に関係する条例を提案することは、過去に無かったことです。どのように進めたら良いのか、手探りの中、現場を重視する委員会が最初に行ったことは、障がいにより耳が聞こえず困っている人の声を聴くことでした。

目から鱗の懇談会

早速、委員会は聴覚障

がい者団体との懇談会を開催しました。懇談する中で、手話は大切な言葉であること、手話やろう者（聴覚障がいにより音声日本語を取得できなかった人）への理解が得られず、日々の生活で苦労されていることなどを聴きました。また、手話の種類は一つではないこと、ろう者は手話による会話の内容を映像化しながら話すなど、委員が知らなかったことが多くあることがわかりました。

わかりやすい内容に

どのような条例にしたら良いのか。聴覚障がいのある人の声や思いを胸

に、複数回に渡って検討し、次のような方向性の条例とすることとしました。

- ・一番大事なのは手話やろう者への理解なので、シンプルでわかりやすい内容にしたい。
- ・手話の理解と普及のため、聞こえる人を含む全ての市民が対象となる条例にしたい。
- ・完成した条例の素案は、パブリックコメントを実施しました。最終案が固まり、いよいよ平成30年第3回定例会（9月定例会）で提案される予定です。

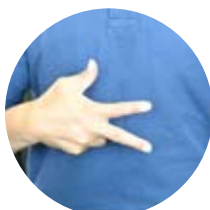
手話の例



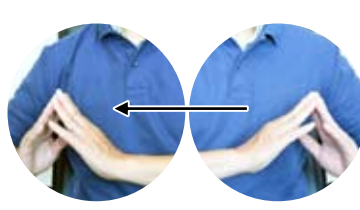
ココロ



みんな



市



町



十日

厚生常任委員に インタビュー

問 この条例に込める思いを一言で言うと何ですか？



副委員長 大嶋由紀子

「伝えたいことを聞いてもらえる社会へ」
手話を言語として認め、ろう者とうる者以外の人がお互いに、仲良く共生できる十日町市にしていきたいです。



委員長 太田 祐子

「今からスタート！全ての市民の心をつなぎ、育てる条例にしたい」
現場の声を聞いて、みんなで条例案を作り上げた。携わった関係者や委員に恵まれたことに感謝。



委員 山口 康司

「障がいのある人に目を向けていきたい」
今まで気づいてあげられなかった聴覚障がい者の気持ちを知りました。条例を機に取組みが前進することを願っています。



委員 水落 静子

「条例が制定された後の取り組みが大事です」
取り組みの継続によって、人から人へ広がってほしい。手話や筆談がどこでもできる十日町市になってほしいと思います。



委員 鈴木 和雄

「誰もが輝く社会を！」
一人一人の人格は多様であって当たり前。おかれている環境に違いがあっても、個人の尊厳が大切にされ、互いに支え合える社会であって欲しい。



委員 村山 達也

「差別や偏見で困っている人を助けたい」
条例制定は4年越しの念願。これは聞こえる人のための条例です。とにかく手話に興味をもつてほしいと思います。



委員 小野嶋哲雄

「手話に対する思いが変わった」
今回のことで手話への認識を新たにしました。自分がすぐにできる事は、ろう者と接し、苦労を理解することです。



委員 宮沢 幸子

「やさしいまちづくりを支える力強い条例に」
委員会が団結し、要望を聞いて共に作った条例です。市民みんなで障がい者にもやさしいまちづくりを担っていききたい。



例



条



言語



手話



つなが



大型車両が通行しやすい道路 中学生のスマホ利用の問題点

星名大輔 議員

質問 高原田伊友小根岸線、小千谷十日町津南線の高原田区間、浅河原新町新田線と国道252号との交差点は、大型車両が往来するが、それに見合った整備がされているか。

答弁 現在小根岸地内の道路改良を実施しており、改良後の幅員は6mです。近接する木島伊友線も道路改良を実施しています。

小千谷十日町津南線は、川西支所前まで拡幅済ですが、その先については、国の予算配分が非常に厳しく採択されていない状況です。まちづくりの観点からの事業計画などで、1ランクアップした要望活動を行えばと考えています。

252号線は県の地域整備部で改良を計画しており、その中で市道との交差部も改良が図られると期待していますし、要望を上げたいと考えています。

質問 中学生のスマホ保有率と利用実態を伺う。スマホの利用に関連し、いじめの発生、授業に集中できない、家庭学習時間の減少等の問題が生じていないか。ラインを活用したいじめ相談を実施する考えは。

答弁 中学生に限定しては把握していませんが、ネット等の利用実態を調査

した結果によると、平日で中学生の67%が1時間以上、携帯電話などを利用している実態がわかりました。現在小学生も含め保有率と利用実態を調査しています。

昨年度市内の中学生において、ラインを利用したいじめが1件、写真や動画等のトラブルが2件ありました。中学生を対象にトラブル未然防止策を行ってきましたが、今年度から、さらに早い段階の小学校でもメディアコントロールに向けた取組みを推進しています。ラインを使った相談は、県でも準備を進めています。当市も県と一緒に進めていきたいと考えています。



スマホの使い過ぎには気を付けましょう



「大地の芸術祭」への取組と 「子育て支援等」について

小林正夫 議員

質問 大地の芸術祭は、過疎や高齢化など地域の活性化を願い進められてきた。さらに進めさせ住民の思いが伝わり喜ばれるよう、伝統文化や名所旧跡を活用し市や地域が主催する方策を図れないか。

答弁 温かいおもてなしが強く印象に残ったという声を、毎回多くいただきます。来訪者との交流で地域が元気になり、地域内の連携がより深まることを大いに期待するところです。これをさらに進化させるには、地域、集落、市民が芸術祭を深く理解し、地域の活性化に有効に活用し、さらに結びつきの必要があると感じています。

次回展に向けては、各地の伝統や文化、名所旧跡などの地域の宝を広くアピールする場として、また地域の盛り上がりや活性化を創出する機会として芸術祭を積極的に活用いただけるように地域間、集落間での連携、市との連携を図りたいと考えています。

質問 多様化する社会環境で、夏休みのラジオ体操が土日やお盆前で打ち切る現状を見るに子供の成長過程で我慢強さや厳しさ、生活習慣に不安を覚える。地域と連携を図る体制づくりを。

答弁 地域の特徴を生かし、共に歩む

学校づくりをより充実させるため、コミュニティスクールを導入しました。この制度を有効に機能させることで保護者や地域と学校が情報や課題を共有し、同じ方向性で社会総がかりの子どもを育む体制を構築できると考えます。教育委員会としては、この取組みを支え、後押ししていきます。

各学校では、第1回の学校運営協議会を実施し、基本的な方針について説明し承認を得ています。学校教育を推進すると同時に、協議会が地域とのつなぎ役となつて、ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもの育成を実現させたいと考えています。



盆踊りの練習に励む子どもたち



十日町きものGOTTAKU 森と自然を活用した子育て

大嶋由紀子 議員

質問 好評でしたきものGOTTAKUの今後の開催に向けての改善は。

答弁 1工場あたりの十分な見学時間の確保とともに、移動効率を上げて複数の工場を見学する交通手段の確保が必要だと感じました。

質問 今回のイベントを通し、浮き彫りとなったきもの産業の課題・今後の対応策は。

答弁 きものに関わる仕事がしたいと参加した若者もいたと聞いています。イベントを通じ、職人の技や労力を知り、改めて魅力に気づいてもらうとともに、匠の技が引き継がれるよう、支援をしたいと考えています。

質問 自然体験活動を基軸とした保育・幼児教育についての感想は。

答弁 豊かな自然の中で伸び伸びと体を動かすことは、身体の諸機能の発達が進み、大変重要なことだと考えています。議員ご指摘の「森のようちえん」は、自然との触れ合い、遊びに重点を置いた大変よい取り組みだと考えており、注目しています。

質問 森と自然の育ちと学び自治体ネットワークについて



「きものGOTTAKU」のロゴ

参加のお考えは。

答弁 森と自然を活用した新たな保育・幼児教育・子育て支援に取り組む団体で、関心を持って注目しています。本年4月に設立したばかりですので、今後、取り組みを勉強しながら参加について検討したいと考えています。

質問 当市は自然の中で伸び伸びと子どもたちの保育をしていることが、当市のPRにつながると思います。お考えをお聞かせください。

答弁 当市はこの施策を進める意味では恵まれた環境にあり、教育委員会と連携し、しつかりPRして、セールスポイントの一つにするくらいの気持ちで向かっていきたいと考えています。



子どもたちへの防犯対策と 外国人観光客の現状と課題

根津 年夫 議員

質問 十日町市の子どもたちに関係する防犯対策はどうなっているか。「防犯カメラ」「子ども見守り隊」「子ども110番の家」の現状と課題について伺います。

答弁 27年の調査で、学校教育施設、保育園、公民館の防犯カメラは関係課で把握しています。そのほかの公共施設の設置状況は、全部で56個です。通学路等の設置状況は把握していません。各学校で必要な人数が充足しているか把握はしていませんが、見守り隊の方々が高齢化で人数が少なくなっているという情報が伝わっています。企業に働きかけるといった視点を議員から教えていただきましたので、取り組みの選択肢の一つとして検討していきたいと思っています。

こども110番は、子どもたちを不審者から守るだけでなく、地域全体で子どもたちを守る意味でも有効な取り組みですが、平成9年以後、見直しがなく、学校と地域に任せられたままといったところがあります。

教育委員会では、十日町警察署生活安全課とも連携協



議しているところですが、今後どのように見直すか今詰めているところです。

質問 豪雪インバウンド事業、大地の芸術祭と多くの外国人観光客が訪れることが予想されます。言葉が通じないことによるトラブルやクレームなど現状と課題について伺います。

答弁 宿泊先等で一番多いのは言葉の問題で、商品購入や目的地への誘導等に時間がかかるということでした。駅構内の総合観光案内所には英語スタッフが常駐しており、大きなトラブルやクレームはありませんでした。

今後の課題として、総合観光案内所以外の英語対応が不十分なことや、ほかの外国語案内が未整備であることが挙げられます。



森林対策・医療対策について

滝沢 繁 議員

質問 国産材の低迷が続いている。なぜこうなってしまったのか。そのために林業に携わる人の意欲が低迷している。バイオマス発電事業はその救世主になるのか。市の展望を伺いたい。

答弁 国産材の低迷は全面輸入自由化で需要が奪われたことが主な原因と考え、現状の価格水準では所有者にほとんど収益が残らないことが意欲低迷につながっていると認識しています。

市は第二次総合計画で市内消費電力量の30%を再生可能エネルギーで創出することを目標にしており、その柱の一つに木質バイオマス発電を位置付けています。構造材・化粧材などに用いるA材や合板に用いるB材など品質の高い木材を活用する主伐林業の拡大と並行して、未利用材を使った発電事業を進める必要があると認識しています。

質問 室野診療所の再開を住民は望んでいる。人の命、安心を求めるからだ。医師を確保し、再開を目指すとした答弁はどうなっているのか。当時地元振

興会が500名近くの存続署名をもって陳情した際、市長は週1、2回でも再開を目指すとした熱い思いはどこに。再開を目指すとした熱い思いはどこに。

答弁 高齢化、過疎化が進む地域の皆様にとって、国保診療所は心と体の健康を守る最終的な受け皿機能を担うという考え方は変わっていません。残念ながら休診状態が続いていますが、医師確保が厳しい状況などを総合的に勘案し、持続可能な医療体制を構築することは、最も重要な仕事のひとつです。県や医師会の皆さんとしっかりと意見交換し、診療所のあり方を考えたいと思っています。



期待される山林の整備



命を救う教育と学校の施設管理の充実

宮沢 幸子 議員

質問 救いうる命を救うため、小中学校での心肺蘇生法やAED実習等の救命教育が重要と考えるが取組みは。

答弁 小学校5年生の保健で、簡単なけがの手当てやAEDについて学んでいます。3つの小学校では、高学年向けに胸骨圧迫やAEDを消防署員が行う実習で学んだり、学習参観時に親子で心肺蘇生を学習するなど、関心を高める取組みを行っています。

中学校でも胸骨圧迫や気道確保、人工呼吸などの応急手当について、実習を通して学習することになっています。

市内中学校のほとんどが消防署に救命士の派遣を依頼して、心肺蘇生法をプロから学ぶという実習を行っています。機材を積極的に貸し出すなど、幅広く啓発を進める必要があると考えています。

質問 学校施設の長寿命化対策を進める指標の一つとして情報を一元管理する「学校カルテ」の取組みを伺います。

答弁 行政で3年サイクルの点検、学校現場では毎月点検と、とても合理的な仕組みだと思っています。

市でも一定のレベルで学校の状況を確認していますが、学校カルテは、より合理的だと思しますので、勉強して

いきたいと思っています。

質問 文部科学省の通知により、学校環境衛生基準が改定され、教室の室温基準が見直されました。猛暑対策としてエアコンの導入について伺います。

答弁 空調設備については、予算がかなり、なかなか進まないのが現状です。現在、トイレの洋式化を最優先に取り組んでおり、あと3、4年で全ての洋式化ができるのではと考えています。その後、空調設備に向かいたいと考えています。新しく基準が変わっても早急にはいかない現実があります。



小学校での実習



中条第二病院への対応「会計 制度任用職員制度」について

安保寿隆 議員

質問 中条第二病院、老健きたはらの存続を求める署名は三万六千名を超えている。この間の市並びに県の取り組み状況を伺いたい。

答弁 県に対して、中条第二病院は、地域の精神医療を担う大切な医療機関であるとの認識を改めて確認しました。国の大きな制度変更によって県の支援が過去5年間の損失額の平均の3分の2となったため、市と津南町では、一般財源で新たな補助を設け支援しています。

老健きたはらについては、経営移譲の交渉に関する報告を受けるとともに、交渉のなかで老健の存在が揺らがないことを確認しています。次の担い手にしっかりと渡る、もしくは今の形で医師を確保し、続けていただけるように、できる限りの支援をしています。

質問 市も出席する魚沼医療圏・調整会議において信濃川筋の病床削減について、どのような検討がされているか。

答弁 ご質問のような形での当市の信濃川筋での状況など、踏み込んだ議論にはまだ至っていません。

魚沼圏域内の各公立病院が将来の需要を踏まえて、それぞれが考える担うべき役割をまとめた新公立病院改革プ

ランについて説明がありました。公的医療機関が策定した公的医療機関等2025プランの説明後に病院の機能病床について本格的な議論を始める予定だと伺っています。

質問 国の制度改正により市の臨時職員に係る「会計年度任用職員制度」について平成29年度実態把握、31年度条例化としているが、進捗状況はどうか。

答弁 実態把握について、週の勤務が20時間以上の任用は総務課で、20時間未満は、各所属に照会し、取りまとめています。関係条例等の整備等は、31年9月の上程を目指しています。

● 会計年度任用職員制度の概要

現 行	地公法	導入後(32年4月実施)
非常勤職員 ・フルタイム(75人) ・パート(252人)	第17条	会計年度任用職員 ・フルタイム ・パート
臨時的任用職員	第22条	臨時的任用
非常勤嘱託員 (67人)	第3条	特別職非常勤(学識・経験ある人に厳格化)

・職員数はH30年4月2日現在

安保寿隆議員作成



国宝火焰型土器の活用と ヘリポート設置について

太田 祐子 議員

質問 国宝火焰型土器を東京オリパラの聖火台デザインにする運動を行っているが進捗状況について伺います。

答弁 市単独での要望活動や信濃川火焰街道連携協議会メンバーとしても要望活動を行っています。聖火台の取組みはもちろん、縄文文化のある自治体と連携し、縄文文化の発信などで連携を重ね、重層的に要望活動を展開する必要がありますと考えます。

質問 国宝No.1の高精細レプリカの具体的な活用方法について伺います。

答弁 手で触れる国宝として、国内外に広く縄文文化を発信するために活用します。新博物館での展示のほか、学校からの要請があれば、レプリカを持参しての出前授業やイベントとも連携していきます。

水にぬれても問題ない特性から、棚田やブナ林での写真や動画撮影による活用も既に始めています。

質問 国宝出土地笹山遺跡は日本、世界に誇れる聖地です。「笹山縄文館」をグレードアップした施設の充実が必要と考える。見解を伺います。

答弁 新博物館で国宝の展示と管理を行い、笹山遺跡では見る、感じる、触れるなど体験、体感の場として出土地

ならではの活動を考えています。

当地域は縄文の重要な遺物が多数出土しており、市全体を見ながら整備、活用を検討しなければと考えています。

質問 ドクターヘリ、防災ヘリの飛来に安全を確保したヘリポートが必要で

答弁 災害対応や高次医療機関への迅速な搬送のためには重要な課題だと考えます。現在の着陸地点を効率よく使用しながら、今後はヘリポート機能を検討する場合の場所や整備内容、財政負担などを関係機関と十分に協議したいと考えます。



笹山遺跡全景



関係人口の増大を！ コミュニティスクールの展開は

富井 高志 議員

質問 関係人口増大への取組み策は。

答弁 当市のことを思い応援してくれる十日町ファンの皆様に、市報の送付やイベント、特産品の紹介、都内で十日町産の食材を食べられるお店の紹介など、関わりを深化に努めています。

ふるさと納税を通じて多くのご支援があり、寄附メニューの追加など、ふるさとを思う皆様のお気持ちに沿える体制づくりを行ってきました。

また、ふるさと功労を新たに設け、貢献いただいた皆様に感謝の意を表しています。

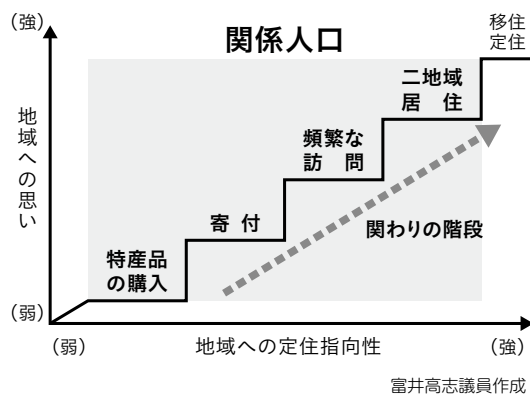
今後も都市交流を行う地域自治組織や市内団体への支援を行うとともに、当市の魅力を発信して関係人口を増やしたいと考えています。

質問 コミュニティスクールの進捗と今後の展開は。

答弁 各学校から推薦された方々を学校運営協議会委員に任命し、学校支援地域コーディネーターに委嘱しました。

今後は、学校運営や教育活動に対する意見具申、学校運営協議会の内容を保護者や地域に説明し、意見を求めるなどの動きが計画されています。

関連の研修会の周知や独自の研修会の開催などで後押ししていきます。



質問 小中学校の大地の芸術祭への参加状況は。

答弁 奴奈川地区で展示される作品づくりに松代中学校が参加し、旧市営スキー場の作品には、8校が参加予定です。川西地域で開催予定のワークショップには、7校が希望し、調整中です。水沢中学校区では作家との交流活動、十日町小学校は作品づくりなど、学校によって関わり方は多様です。作品鑑賞を検討する学校も多く、ガイドブックを配布予定です。教育活動に役立てられるよう、教職員対象の鑑賞ツアーも計画しています。



住んで良かったと実感できるまちづくりを・学校給食について

鈴木 和雄 議員

質問 公共施設等が中心部に集中する傾向ですが、利便性向上をどう図るか。

答弁 駐車場の整備や市営バス、予約型乗り合いタクシーなども施設へのアクセスを考えて経路を組んでいます。市民が等しく平等に利用できる運営を工夫し考えなければと思っています。

質問 人口減少と過疎化を前に、今までの違う視点で地域医療をどう守るか検討せざるを得ない状況について

答弁 国の方針を理解し、我々がすべきことを医師会や県、地域とお話ししなければならぬ段階だと思います。待ったなしの状況をお互いに認識し対策をとらなければなりません。議員と我々も情報を共有し、この難局に一緒に向かわなければと思います。

質問 人口減少や後継者不足、所有者不明に伴い、農林地の管理ができません。自然災害が懸念されるが対策は。

答弁 さまざまな取組みを通じて実態把握と荒廃農地発生防止、担い手へのシフトを進め、農地の保全と有効利用に努めます。国では、所有者不明農地を貸し付けできる制度改正や手入れが行き届かない私有林の管理を、市を介して林業者などに集約化を図るとしています。



懸念される山村の荒廃

森林については、現行の支援策やカーボンオフセット事業等の活用で、ふるさと森林を守りたいと考えます。

質問 学校給食の教育的意義は何か。また、学校給食のあり方や食育の取組みは教育委員会に報告すべきでないか。

答弁 学校給食は子供達の心や体を育むとても大切なものと考え、育みのまちづくり運動に取り組んでいます。学校給食の現場において今現在大きな問題がない中で報告が少ないということだと思っています。今後学校給食のセンター化を進める中で教育委員会の意見を聞きたいと考えています。



現実の大問題の解決策と 近未来の地域ビジョン提案

樋口利明 議員

質問 中条第二病院と老健きたはらの存続のための具体策、期限を設けた交渉等の具体的な行動について最新の市長所信を問い、官民協働によるオール十日町アピール行動を提案し、念願します。

答弁 地域医療を守る住民の会を立ち上げていただき、3万6千を超える署名は重く、大変心強く受け止めています。これが常に後ろにある、という覚悟で調整を図りたいと思います。

地域の皆様と共に行動してきた経過がありますので、その時々判断により、適切な形で市民の皆様の思いが結実するように努めます。

経営問題ですので、まずは厚生連とJAで話し合っていただいたいと思います。精神医療の責任は県ですので、今後もしっかりお話ししていかなくてはなりませんし、特に新知事とできるだけ早く議論しなければと思っています。

質問 地域自治組織ごとに厳しい現実を直視した住民が望む地域ビジョン、すなわち、地域創生核事業を官民協働にて具体化し、地域住民主体主導、行政参加支援の形で推進



地域の宝もの

するよう、中条地域を例示して政策提言し、市長と教育長の理解と英断を求めます。

答弁 地域自治組織は、地域課題を解決するための自主自立した組織で、公共を支えるパートナーとして、まちづくり基本条例にも定めています。地域自治組織からは3年ごとに推進計画を定めていただいています。また、第2次総合計画の策定においては、各地域との協議を重ねて地域別の振興方策を定めています。

教育委員会では、今年からコミュニティスクールという制度を取り入れて、地域力を生かしながら学校教育の活性化を図っていききたい、地域との接点を大切にしながら、教育行政をやつていきたいと感じています。



県知事選挙に基づく 県と市の課題を問う

藤巻 誠 議員

質問 選挙戦における市長のスタンスと選挙結果について

答弁 私を含めた17市の市長が花角さん支持を表明しました。新潟県知事として、最適任者だと確信しています。

質問 柏崎刈羽原発に関連する3つの検証と当市の関わりについて

答弁 県は安全管理に関する技術委員会に加え、事故による健康と生活への影響や災害時の避難方法に関する検証委員会を設置し、これを統括する検証総括委員会です。3つの検証を早急に進める体制です。動向を注視し、県に対して要望を伝えたいと考えます。

質問 十日町病院、中条第二病院などの地域医療体制の確保について

答弁 花角知事には、十日町病院の安定運営に向け、医師の偏在対策や常勤医師の不在診療科がないように取り組んでもらいたいと考えます。

市でも1次医療の確保に努め、県の取組みに貢献したいと考えます。

中条第二病院は、患者さんのことを第一義に考え、存続を最優先に、県からは、持続性のある精神医療のあり方について、ビジョン形成をリードしていただきたいと考えます。

質問 上沼道十日町インター開設など

の道路網の整備について

答弁 十日町道路は、今年度北陸地方整備局が直轄権限代行検討のための調査を予定しています。アクセス道は詳細設計等を既に実施していますし、今後も詳細設計、用地買収等を予定しており、十日町道路の整備を見据えながら事業を進める考えです。

質問 着地型の観光振興策について

答弁 花角知事が副知事時代に先鞭をつけたLCC（格安航空会社）の就航は、力強いサポートになると思います。食と雪と芸術祭を押し出し、新たな観光地としての越後妻有十日町をつくりたいと思います。



中条第二病院



ジミー・リャオ「Kiss & Goodbye」
photo: Gentaro Ishizuka



イリヤ & エミリア・カバコフ「人生のアーチ」
photo: Osamu Nakamura

1 大地の芸術祭事業費を増額

現在開催中の「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018」が、文化庁補助金（平成30年度国際文化芸術発信拠点形成事業補助金）の採択決定を受け、芸術祭の委託料を1億1千9百万円を増額しました。補助金を活用して、二

次交通をはじめとした様々な受入対策の強化を図ります。また、地域の特性を生かしたイベントやプログラムを企画して、地域の魅力満載のパフォーミングアーツ公演などを開催し、更なる誘客につなげます。

議会をPick-Up!

6月定例会

平成30年 第2回定例会
会期 6月8日～14日（7日間）
審議結果は次のページに掲載。本会議・委員会での質疑についてご紹介します。

〔補正予算第2号〕一般会計を約1億円減額し、予算規模は361億円

6月定例会で議論された、防災行政無線工事について、競争入札を行った結果、2社から応募があり、約12億円で契約したい旨の提案があり、採決の結果全員賛成で原案可決されました。正式な

議会をPick-Up!

7月臨時会

平成30年第1回臨時会（7月18日）
臨時会では、高額な物品を購入する場合や事業費の多い工事請負契約の案件などが審議されます。

契約の後、今年度は屋外拡声器の具体的な設置場所や機種の選定が始まります。整備完了は平成32年度を目指しています。

請願者…地域医療を守る住民の会 代表世話人…大嶋育未氏・柳義夫氏・佐藤和人氏

【請願の趣旨】
「中条第二病院」と「老健きたはら」が、労働人材不足及び経営難が顕在



「中条第二病院・老健きたはら」の存続を求める請願

化し、厳しい存続環境にある。存続を求める署名簿は3万5千筆を超えて寄せられている。そのことを踏まえ、十日町市として、国県等関係機関に存続を強く働きかけること。

2 新情報収集伝達システム
平成32年度までに整備

新情報収集伝達システムを整備することについて、平成32年度までの継続費として約14億円を計上しました。質疑の中で、①豪雨災害・土砂災害に対応する必要がある、いざというときには双方向で、小規模なグループ単位で発信できるような情報伝達が必要である、②契約を今年度に行えば、

消費税は8%のままでよく、平成31年度に予定されている2%の消費税アップ分約7千5百万円が節減できる、③整備にあたっては、地元で調達出来る資材は地元で、工事は地元業者を、④また、今後の維持管理は地元業者を優先する予定です。

みなさんの声を届けます



30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願

請願者…新潟県教職員組合魚沼支部 執行委員長…宗村賢一氏

【意見書の趣旨】
子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進す

ること。具体的な学級規模は、30人以下とすること。義務教育費国庫負担制度を堅持すること。提出先…内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣官房長官

6月定例会議決結果

議案番号等	件名	付託委員会 審査結果	採決状況	議決結果
市長提出議案	65 専決処分の承認（平成29年度十日町市一般会計補正予算〔第10号〕）	－	全員賛成	承認
	66 専決処分の承認（十日町市税条例等の一部を改正する条例）	－	全員賛成	承認
	67 専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	－	全員賛成	承認
	68 専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	－	全員賛成	承認
	69 専決処分の承認（十日町市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例）	－	全員賛成	承認
	70 専決処分の承認（平成30年度十日町市一般会計補正予算〔第1号〕）	－	全員賛成	承認
	71 人権擁護委員候補者の推薦（根津敏一郎氏）	－	全員賛成	同意
	72 十日町市個人情報保護条例の全部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	73 十日町市税条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	74 十日町市災害減免条例の一部を改正する条例制定	－	全員賛成	原案可決
	75 十日町市清津峡深谷歩道トンネル条例の一部を改正する条例制定	産建	全員賛成	原案可決
	76 十日町市森林総合利用施設条例の一部を改正する条例制定	産建	全員賛成	原案可決
	77 市道の廃止（元町中子環状線 ほか1路線）	産建	全員賛成	原案可決
	78 市道の認定（清田山1号線 ほか2路線）	産建	全員賛成	原案可決
	79 十日町市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	80 十日町市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	81 十日町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	82 平成30年度十日町市一般会計補正予算（第2号）	－	全員賛成	原案可決
	83 平成30年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	－	全員賛成	原案可決
	84 平成30年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	－	全員賛成	原案可決
請願	2 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願	総務文教	全員賛成	採択
	3 「中条第二病院・老健きたはら」の存続を求める請願	厚生	全員賛成	採択
議会提出議案	4 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	－	全員賛成	原案可決
	5 議員派遣（広島市原爆死没者慰霊式・平和記念式典、新潟県市議会議長会議員研修会 ほか1件）	－	全員賛成	原案可決

議案の審議結果

今回も
じっくり審議
しました!



7月臨時会議決結果

議案番号等	件名	付託委員会 審査結果	採決状況	議決結果
市長提出議案	90 物品購入契約の締結（圧雪車 吉田クロスカントリー競技場）	－	全員賛成	原案可決
	91 物品購入契約の締結（ロータリ除雪車 中里支所）	－	全員賛成	原案可決
	92 物品購入契約の締結（ロータリ除雪車 松之山支所）	－	全員賛成	原案可決
	93 工事請負契約の締結（デジタル同報系防災行政無線整備工事）	－	全員賛成	原案可決
	94 工事請負契約の締結（医療福祉総合センター建設（建築本体）工事）	－	全員賛成	原案可決
	95 工事請負契約の締結（医療福祉総合センター建設（電気設備）工事）	－	全員賛成	原案可決
	96 工事請負契約の締結（医療福祉総合センター建設（機械設備）工事）	－	全員賛成	原案可決
	97 工事請負契約の締結（児童遊園屋内施設建設工事（建築本体））	－	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※庭野議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成 (起立)	反対 (着席)	いしづか 礎					自由の風				だ い ち				さん し かい 三 矢 会				日本共産党 十日町市議団				さ く ら			庭野政義
				小林弘樹	福岡哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻 誠	吉村重敏	根津年夫	山口康司	太田祐子	小林正夫	小野嶋哲雄	樋口利明	村山達也	小林均	星名大輔	鈴木一郎	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢 繁	遠田延雄	高橋俊一	大嶋由紀子		
79	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※

議 会 レ ポ ー ト

産業建設常任委員会

- ◆ 6月27日～29日
- ・九州大学工学部
 - ・プラズマの活用
 - ・福岡県みやま市
 - ・エネルギーの地産地消について
 - ・大分県日田市
 - ・木質バイオマス発電による林業振興

産業建設常任委員会では、何度もお願いをし、やつと九州大学の渡辺隆行教授の「プラズマ」に関する視察が実現した。

渡辺教授は、温度が1万度以上にも達するエネルギーを利用して、フロンやハロン、PCBといった物質を、有害物質を出さずにゴミ処理ができる研究をしている。そんな現象を可能にするのが「プラズマ」という粒子の集まりだ。我々も特殊な炉の中で作り出されるまぶしすぎる「プラズマ」や、特別なガンから発射されたプラズマ光線でアルミ缶を瞬間的に焼き切るところを見せて頂いた。驚くべきはそれに必要な材料が「水」だけだということだ。さらにはゴ



プラズマでアルミ缶を焼き切る（九州大学にて）

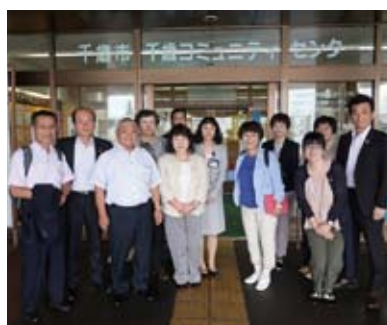
ミ処理の際に出るエネルギーを別の形で活用しようとしている。この『水プラズマを発生させる装置』が実用化すれば廃棄物処理の未来が確実に変わるだろう。この装置は、高周波放電やレーザーに比べて設備費が1桁小さいことや、アーク放電がレーザーのようにエネルギー形態に変換する必要がないことなどから、近い将来我々の身近な存在になるものと確信した。

このほか、みやま市での太陽光発電を中心としたエネルギーの地産地消の進捗と、日田市の大掛かりな木質バイオマス発電所を視察し、当市が目指す再生可能エネルギー政策のより早い進展を願った。

厚生常任委員会

- ◆ 7月2日～4日
- ・北海道千歳市
 - ・ネウボラの取組み
 - ・北海道札幌市
 - ・子どもアシストセンター
 - ・小樽市社会福祉協議会
 - ・成年後見センター

「妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援『ちとせ版ネウボラ』とは、フィンランドの「すべての母親たちに、直接のアドバイスや援助が得られる機会を確保する」というネウボラの理念を千歳版として運営している事業です。高校生までを包括的に支援する体制で①妊娠期②出産・産後期③乳児期④幼児期⑤養育期の5種類の支援プランを作成し、児童相談所等の関係機関と連携しアセスメントシートをベースに個別ケア会議で問題解決に取り組んでいます。当市でも多くの子育て支援事業が実施されていますが、妊娠から高校生まで切れ目のない支援を関係機関が連携し市民に



ネウボラについて視察（千歳市にて）



子どもの権利救済機関・子どもアシストセンター

利用しやすい窓口体制が確立されていないことを実感しました。また、札幌市子どもの権利救済機関「子どもアシストセンター」や小樽・北しりべし成年後見センター」を視察しました。これらの事業は、当市の福祉には欠かせない喫緊の課題であり、子どもの人権擁護や市民後見人の養成・確保体制の必要性を学んでまいりました。

視 察 受 入

平成29年度には、北海道深川市など18市町議会114人（うち宿泊48人）の方が当市を視察されました。今年度は大地の芸術祭が開催されることから、数百人の視察が予想されています。



八王子市議会11名の方がキナーレを視察（今年5月）

あいさつ状は
お出しできません

議員から残暑見舞状等（答礼のための自筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。



会派通信



子どもの居場所づくり研修会

私たち会派さくら（遠田延雄、大嶋由紀子、高橋俊一）の活動を紹介します。多くの日本人が愛する「さくら」の花を会派名としました。市民の皆様のご思いに寄り添い、現場を拝見し、お話を伺う活動を心がけています。お気軽に「ご相談」や「聞いてほしいこと」等ご連絡いただくと幸いです。

注視しています。

②議員の研修費である政務活動費を使用し、市民の皆様と共に学ぶ研修会を初めて開催いたしました。にいがた子育てステーション理事長、立松有美様を迎え、約30人の方が参加。子どもを真ん中にした多世代交流が出来る子ども食堂について学びました。JA様、三好園しんざ様等は、子ども食堂を始めるとのこと。現状皆様の感心の高い課題に合わせた研修会を今後も市民の皆様と一緒に学んで応援していきたいと考えています。③企業様や市民活動をしている方々とお話をさせていただく機会を大切に行っています。現場に出向き話を伺い、議会では一般質問として皆様の声を届けて参ります。



松之山学園を視察

礎は、メンバー内の風通がよく、議案や行政政策を侃侃諤諤、是々非々で意見交換を行っています。4月に、当市が進める再生可能エネルギーの取組みについて、エネルギー政策課から詳しく説明を聴き、これからの課題を含め意見交換をいたしました。5月に、島根県隠岐郡海士町を視察。離島である海士町では、都会のような便利な暮らしはできません。島で買えるものは少なく、気軽に島外に出ることもできません。その一方、当市と同じく豊かな自然に囲まれ、田園や祭りなど日本の古き良き原風景を今もなお残しています。島にないものばかりを求めても島はよくならないと考え、島に



自然が残る隠岐島



右から3人目が町長の山内さん

あるものに磨きをかけ、島らしい生き方や魅力、個性を自分たちの手でつくりあげること、真の「自立」への様々な挑戦を見てきました。徹底した行財政削減の精神で、給与・報酬カットに踏み切り、地域の任意団体からも自ら補助金返上の声が上がった。地域バスの運賃値上げも島民から話ができるまでになりました。島の人口は2千人程度で、島民の情報共有が行き届き、島民全員の自立への覚悟、まさに地域への誇りと、気概が島民運命共同体であることが印象深いことでした。当市においても行財政改革を考えさせられる視察となりました。

議会をもっと身近に！

会議録が検索できる

市議会のホームページか会議録検索システムに入って、過去の本会議会議録を見ることができます。

ネット中継でわかる

本会議の様子をライブ配信（録画配信も）しています。パソコンやスマートフォン、タブレットでご覧になれます。

本会議や
委員会の開催日、
過去の本会議会議録
などホームページで
Checkしよう！



庭野議長に感謝状

全国市議会議長会 監事

筆頭



全国市議会議長会の会長代理として挨拶する庭野議長

庭野議長が全国市議会議長会の筆頭監事を務められ、この度退任しました。去る5月30日開催の全国市議会議長会定期総会において感謝状の贈呈を受けました。



永年勤続表彰



去る4月26日に開催された第93回北信越市議会議長会定期総会及び5月30日に開催された第94回全国市議会議長会定期総会において永年勤続表彰を受けました。

◎在職15年以上

鈴木一郎 議員

表紙写真について

今月号の表紙は松代高校写真部の作品です。

松代高校写真部



今年度は1年生4名で活動しています。感動が伝わる1枚を目指しています。

議会だよりって だれが作っているの？

お答えします。議会だより編集委員会です。編集委員は、三つ（総務文教・産業建設・厚生）の常任委員会から二人ずつ選ばれています。任期は、二年です。来年春は60号を迎えます。記念特集記事を掲載する予定で、今から準備を進めています。編集委員各10人、計60人の方の取材を目標としています。取材にお邪魔しましたら、お受け願います。

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999

新入議員として一年が過ぎ、多岐にわたる活動を通して、議員・議会の重要性を改めて感じています。議員・議会活動が市民の皆さんのより良い生活に繋がるよう、開かれた議会を目指していきます。

現在、開催されています大地の芸術祭は、日本のみならず世界中から注目される壮大なイベントです。里山や自然などの地域資源をアートによって発信するこのイベントは、地域住民と世界中の人々との様々な交流を生み出しています。

市民の皆さんも足を運んでみませんか。十日町市の新しい魅力を発見できるのではないのでしょうか。（根津年夫）

あとがき